

# 北海道地区自然災害科学資料センター活動報告メモ

(平成 26 年度)

## (1) 一般活動 (地区幹事会・センター運営委員会)

第 1 回幹事会：平成 26 年 8 月 21 日 (木) 15:00~17:00 参加人数：10 名

### ◇議題

#### 1. 自然災害研究協議会報告

緑川部会長より、4 月 25 日 (金) に開催された、平成 26 年度第 1 回京都大学防災研究所自然災害研究協議会の報告があった。

- ・今年度より地区部会が 6 部会から 8 部会に編成され、新しい地区部会体制となった。
- ・京都大学防災研究所共同研究 (重点推進型共同研究) の共同研究企画書が二件提出された。
- ・東大地震研究所と京大防災研究所との拠点間連携共同研究が 4 月より新しく始まった。
- ・平成 25 年度予算案について→北海道地区部会については例年並み。

#### 2. 平成 25 年度決算報告

岡田センター長より、添付資料に基づいて報告があった。

#### 3. 平成 26 年度予算案

岡田センター長より、添付資料に基づいて報告があった。

例年並みの支出の予定。

PQR 棟耐震補強工事に伴う資料センター室移転作業 (資料整理・梱包・荷解き作業) に学生アルバイトを雇用すること・係る謝金は 26 年度予算から支出することが認められた。

地区シンポジウム及び突発災害調査の予算については、地区部会内予算ではなく本部予算による執行となるので、別途申請が必要となる。計画がある場合は、早めに事務局へ連絡頂きたい。なお、本年 8 月 19 日からの大雨等による広島市における土砂災害については、土木学会と地盤工学会の合同調査が予定されているとの情報が案内された。

#### 4. 地区フォーラムのテーマについて

室蘭が開催地の候補にあがった。

10 月、3 月に室蘭で開催予定のシンポジウムに共催するのはどうかという案があがった。

当面の担当を木幡委員 (室蘭工大) をお願いすることとなった。

#### 5. センター (地区部会) 業務報告

- ・4 月より順次センター報告 27 号が発送された。
- ・部会員名簿の更新作業を進めている。  
新規会員も引き続き募集中。

- ・センター報告の Web 上での公開について。  
vol. 1 より順次公開予定だが、著作権等の問題もあるので、近年のものについては著者に許可を取ってから公開する。  
今後の Web 公開の方法を含め、公開規定を検討することとなった。
  - ・北海道地区資料センターの HP 更新について  
更新作業を進めており、センター報告のバックナンバーの一部が公開された。  
新規会員に地区部会・資料センターの役割等を理解してもらえるように、センター案内のページを更新予定。
6. 自然災害資料センター報告 28 号の募集について  
28 号についてもこれまで同様の冊子体での刊行を予定する。  
具体的な論文著者候補はあがらなかったが、検討を継続することとなった。
7. 総会特別講演会講演者候補について  
幹事の緑川先生・田中先生が候補にあがった。  
北大工学部以外の学部、他大学でも該当者がいれば連絡していただきたい。
8. その他
- ・改修工事に伴う資料センター室の一時移転スケジュール  
9 月 3 日に、現在の Q354・Q302 から、H21・H22 へ移動する。  
電話番号等は変更無し。  
移転完了後に、部会員へその旨の案内をメールで行う予定。
  - ・次期部会長、センター長の候補を検討し始める。  
部会長任期については、本部の規約との整合を確認すること。

**第 2 回幹事会：平成 26 年 12 月 17 日（水） 15：00～17：00 参加人数：11 名**

#### ◇議題

##### 1. 自然災害研究協議会報告

緑川部会長より、9 月 11 日（木）に開催された、平成 26 年度第 2 回京都大学防災研究所自然災害研究協議会の報告があった。

- ・今年度より、活動経費が各地区から要求された経費配分となっている。北海道地区は 35 万円。
- ・地域防災実践型共同研究が現在公募中なので、積極的に応募いただきたい。
- ・「拠点間連携共同研究委員会」を設置。研究協議会から北海道地区部会長の緑川先生他 2 名が推薦され承認された。
- ・自然災害データベースについては、過去は隔年で採用されていた科研費がここ 3 年連続で不採択となっている。
- ・参加型公募研究について次年度は「南海トラフ巨大地震のリスク評価」を予定している。本部より公募案内があり次第、構成員に案内周知の予定。

## 2. 平成26年度予算中間報告及びセンター業務報告

### 予算

- ・岡田センター長より、添付資料に基づいて報告があった。
- ・来年度への繰越予定額は939,904円で昨年並み。繰越申請は来年1月頃の予定。
- ・情報収集デバイスとして、録画機能の付いたテレビの購入を検討。

### 業務報告

- ・センターの引越し先はQ301（資料室）、Q351（事務室）に決定。  
引越し時期は、来年4月16日から6月15日の間。
- ・新たな受入資料について配布資料参照のこと。
- ・新たに4名のメンバーが登録された。  
(政策大学院・高松先生、文学部・橋本先生、理学部・村上先生、農学部・南先生)
- ・センター報告のPDF化と一部ネット公開

## 3. センター報告28号の募集について

原稿を募集。例年2月末締め切り。

## 4. 地区フォーラムのテーマについて

### ・室蘭

木幡委員より、3月14日（土）に室蘭工業大学で開催される、「環境科学・防災研究センター10周年記念事業」の中の記念講演会を北海道地区フォーラム共催すると報告された。詳細決定次第、構成員に案内周知を予定。

### ・サイエンスカフェ

札幌管区気象台サイエンスカフェに共催してはどうかと藤吉委員から提案され、承認された。  
3月8日（日）14:00～15:30 札幌駅前通地下広場  
詳細がわかり次第、委員に情報をお知らせする。

## 5. 総会特別講演会講演者候補について

講演者は、緑川先生と田中先生に決定した。

総会の日程は、緑川先生と田中先生のご予定を優先し、決定する。

## 6. センター報告バックナンバーのインターネット公開に関する規定について

岡田センター長より、規程案が出された。

「刊行してから10年を経過しないものについては、連絡のつく著者には承諾を得る。」等、協議会本部にも確認し次回の総会で再検討する。幹事からの修正意見は次回総会まで受け付ける。

## 7. 次期地区部会長、センター長の候補について

次期部会長は岡田現センター長、センター長は山下現委員に決定した

## 8. その他

- ・岡田センター長より、HPのコンテンツ追加案が出された。  
メンバー（部会員、協力員）リストの公開については要検討。
- ・緑川部会長より、英語版についても検討してはどうかとの意見が出された。HP 作成業者への依頼も要検討。

## (2) 地区フォーラム

室蘭工業大学 環境科学・防災研究センター10周年記念講演会との共催 参加人数：100名

開催日時：2015年3月14日（土）13時～14時30分

開催場所：蓬莱殿（室蘭市宮の森町1丁目）

講演：「災害の多発・激化時代におけるわが国の防災・減災対策」

関西大学 社会安全研究センター センター長

河田 恵昭（かわた よしあき）教授

## (3) 出版活動

北海道地区自然災害科学資料センター報告 vol. 28号の刊行（2015年3月）

## (4) 地区総会

日時 … 平成27年2月23日（月）15:00～15:30

場所 … 北海道大学大学院工学研究院 A101会議室

出席者 … 岡田・緑川・藤吉・谷岡・林川・田中・山下・上田・田村・高井・麻里・中嶋・鮫島・尾関各委員、飯場先生、松本先生、石川先生、高松先生、神谷様、堀田様、天野様、大津様、野田事務員（合計23名）

### ◇議題及び報告

審議に先立ち総会の成立要件（幹事の1/3以上（7名以上）の出席：部会内規第13条）を充足している（幹事出席者数14名、委任状4名の計18名）ことを確認した。

### 1. 平成26年度自然災害科学資料センター事業報告

今年度の実施業務（予定を一部含む）について岡田センター長より以下の報告があり、承認された。

- ・第1回幹事会（平成26年8月21日）
- ・第2回幹事会（平成26年12月17日）
- ・自然災害科学資料センター報告第28号発行予定（平成27年3月31日）
- ・同原稿募集（締切2月末日）
- ・道内の災害/調査はなし
- ・閲覧・資料貸し出し
- ・地区フォーラム 3/14室工大開催予定
- ・特別講演会
- ・協賛 札幌管区気象台サイエンスカフェの協賛は内容が変更されたため取り下げ

- ・資料センター報告運用指針策定→平成27年2月23日施行
- ・PQR棟耐震補強に伴う引越作業

## 2. 新委員の承認・紹介と、部会長・センター長の交代について

新委員と部会長・センター長の交代について以下のとおり承認され、飯場・松本の両新委員から挨拶があった。

- ・委員交代と追加 林川委員→松本新委員 飯場新委員
- ・緑川部会長→岡田部会長
- ・岡田センター長→山下センター長

## 3. 平成26年度予算・中間会計報告

- ・別紙のとおり岡田センター長より報告され、承認された。
- ・平成27年度へは約80万円の繰越を予定している。
- ・研究協議会の予算は、今年度は全額使い切る方針。  
地区フォーラム（3/14に室工大で開催）で使用後の残額は、図書を購入予定。

## 4. 平成27年度事業計画について

- ・別紙のとおり岡田センター長より報告され、承認された。

## 5. その他

◇総会に引き続き、以下の特別講演があった

田中 洋行 先生（北海道大学 大学院 工学研究院）

『札幌の地盤と液状化に対する私見』

予定時間15：30～16：30

緑川 光正 先生（北海道大学 大学院 工学研究院）

『鋼構造建物の耐震性・機能維持性の向上をめざして』

予定時間16：30～17：30